

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表 令和 6年 3月 1日

事業所名 ひまわりのたね みのり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	その日の児童数によってクラスごとに部屋をわけたり工夫している。	少ない日はクラスをひとまとめにしたり、状況に応じて判断をしたい。
	2	職員の配置数は適切である	10	0	児童の年齢や特性を考慮した上で必要な職員数を配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	0		導線をチェックしながら、児童たちにわかりやすい環境をつくってきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	0	毎日全職員でそうじをしている。感染症が流行しているときは特にアルコール消毒をこまめにおこなっている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	0	毎日朝と夕にミーティングをおこない情報共有をこころがけている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0	保護者様からの評価は全職員で目を通し、情報を共有している。	保護者様からの意見やニーズをグループ全体の職員で確認し、改善できるように努める。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0	Instagramやホームページにて公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	0	職員で話し合い、共有している。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	事業者内での研修を定期的に行っている。	
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	0	児童発達支援管理責任者を中心にひとり一人に合わせた個別支援計画作成するために支援会議を行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	0	児童発達支援管理責任者、指導員での会議をおこない、情報交換を大事にしている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	0	担任だけでなく、全職員が支援計画に目を通し、支援につなげている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	0	職員で話し合い、共有している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	児童の課題となっている物を職員で考え楽しく取り組めるようなプログラム作りをしている。	職員が意見を出し合ってプログラム作成を行う。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10	0	午前中は集団活動を中心に、午後はプログラムの時間を利用して個別プログラムを多く取り入れている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	朝のミーティングで配置以外にも前日の子どもの様子やも仕送り事項の共有を行っている。	今後も毎朝のミーティングで共有していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	0		ミーティングでは、各クラスごとに本日の出来事、反省点、改善すべき点を発表し、パートを含め全職員で共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	業務日誌に気づきを記入して職員間で共有し、会議を行う。	
	20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	0	送迎やメール、電話等で保護者様と情報交換できるようにしている。	保護者と情報交換をしながら必要性がある場合は計画の見直しをする。

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表 令和 6年 3月 1日

事業所名 ひまわりのたね みのり

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0	担当者会議や情報交換は担当者が対応するようにしている。	全ての職員が担当者会議に出席できるよう知識の向上に努めていきたい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10	0	同じグループ内で情報共有している。関係機関とは定期的に情報交換を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	10		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	10		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	0	学期ごとに支援内容や児童の様子を共有して、その後の支援内容に組み込んでいる。	園庭へ遊びにいたり、療育活動の様子を見に来てもらう機会を今後も増やしていき、相互理解を深めていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	0		今年度も利用児童の卒園生がいなかったため小学校への移行支援は行わなかったが今後はおこなっていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	9		施設内や、同じグループ内で助言をさせていただいている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	10	公園の砂場やアスレチックなどで、関わることが多いが、その際は関わり合いを大事にしている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	10		参加はできていないが同じグループ内で情報共有している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	送迎やメール、電話等で保護者様と情報交換できるようにしている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	10		また次年度に向けて計画を立てていき、開催に向けて準備をしていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	契約の際はもちろん、その後も問い合わせがあった場合は説明をするようにしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0		支援計画として、保護者様と面談をおこない、その際に同意をいただいている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	保護者との連携をとり、悩みや相談があれば電話やメールでお話を聞き助言支援を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10	0	保育参観、保護者会をおこない、保護者様同士がコミュニケーションをとれるようにしている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	担当職員を決めて迅速な対応を心掛けている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	グループ施設の情報も載せた会報を毎月発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10	0	個人情報がのっているものは、必ずすぐにシュレッターをかけるようにしている。	

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表 令和 6年 3月 1日

事業所名 ひまわりのたね みのり

非常時等の対応	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10	0	作品展の際には、外からチラシがみれるように貼ったり、運動会の際にはシェイクムにご協力をいただき放送してもらった。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	0	BCPを保護者様や職員に説明している。	組織図を基に各自の役割を把握しながら動けるように今後も定期的に訓練をし続けていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	グループ全体で対策本部を立ち上げて災害に備えている。避難訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	0	入園前の相談記録で記入、確認をしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	会議やミーティングを行い、職員で作成、共有をする。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	定期的に研修やレポート作成をしている。		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	0			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。